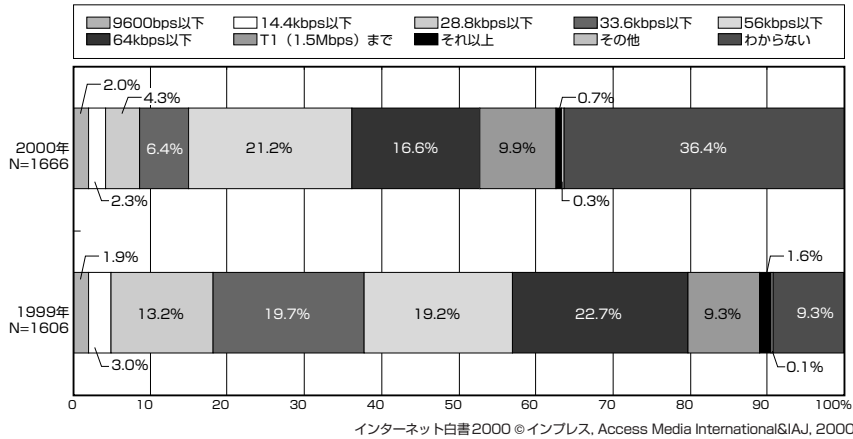
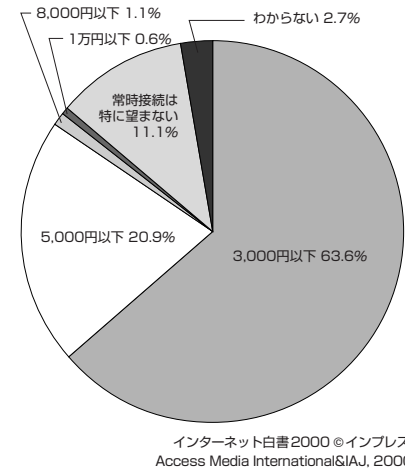


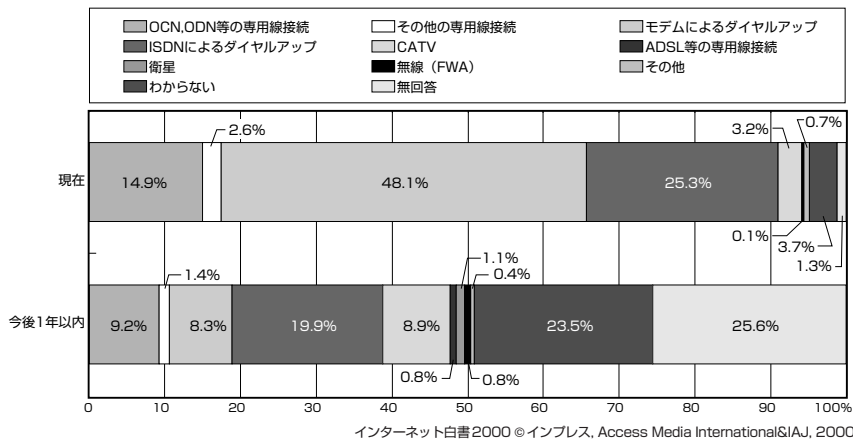
資料1-2-35 主な通信速度（1999年-2000年）



資料1-2-37 今後常時接続が望ましい場合の月額料金 N=1223



資料1-2-36 主な接続方法（現在/今後1年以内） N=1666



解説

プロバイダーの選択理由は例年同様「料金の安さ」や「アクセスポイントの多さ」であるが、今年は、「友人・知人の勧め」が8位から4位に浮上した（資料1-2-34）。エントリー層にとって、プロバイダーとの契約には事前の情報が必要となるが、てっとり早く、確実だと考えられるのは身近な人あるいは経験者に聞くことであるようだ。昨年5位の「高速通信に対応しているから」はヘビーユーザー層の比率の低下もあり順位を下げている。一方、「無料試用期間があるから」という明快なサービスはエントリー層の増加もあり、現在のインターネット個人利用者には評価されている。また同様に「ハード・ソフト購入時に契約が含まれていた」も依然有効手段の1つであるといえる。

個人利用者の通信速度はさらに高速化し、主流は56kbpsから64kbpsとなっている（資料1-2-35）。主な接続方法としては「OCN、

ODN等の専用線接続」（14.9%）が昨年に引き続き伸びている（資料1-2-36）。しかしながら、今後の1年以内の予定としては「CATV」への期待が最も高く8.9%となっている。

また、今回初めて現状で常時接続でない人に常時接続が望ましい場合の適正月額料金を聞いたところ、6割以上が「3,000円以下」と回答しており、常時接続するとしても月々の支払いは3千円程度に抑えたいという意向が強い（資料1-2-37）。また、年代別にみると19歳未満の若年層では「常時接続は特に望まない」という回答が比較的高かった。

（矢野さよみ アクセスマディア インターナショナル株式会社）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp